

●1月は職業奉仕月間です。

室蘭北ロータリークラブ会報

Rotary



# むらんど

室蘭岳



2019～2020年度 国際ロータリーテーマ

ROTARY CONNECTS THE WORLD

「ロータリーは世界をつなぐ」

2019～2020年度 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

2020年1月28日(火) 第2312回 例会

第2510地区 日本 (DISTRICT 2510 JAPAN) ●会長: 赤崎 幸三 ●幹事: 西野 義人 ●編集: クラブ管理運営委員会

## 本日のプログラム

### 夜間例会「クラブフォーラム」

クラブ管理運営委員会  
職業奉仕委員会

本日献立 和食(お刺身定食)

## 第48回 IM開催のお知らせ

ホストクラブ: 室蘭東ロータリークラブ

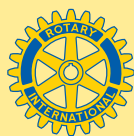
日時 2020年2月2日(日)  
15:00～19:00

場所 中島神社 蓬峯殿  
テーマ 『日本遺産 炭鉄港』  
サブテーマ

あるものを活かさないことを創る  
講演者 札幌国際大学様教授 吉岡 宏高 様

### 【タイムスケジュール】

15:00 受付  
15:30 点鐘  
16:00 講演  
17:30 懇親会



## 次回の予定プログラム

### 卓話「卒業そして起業」

米山記念奨学生 邵 冠銘 様  
クラブ管理運営委員会

次回献立予定 洋食ランチ(ビーフブランケット)

※例会終了後、定例理事会を開催致します。  
※2月11日(火)は法定休日により休会です。



## ニコニコBOX

赤崎幸三(民報の新年会で景品が当たりました)  
國田雅弘(先週上期ホームクラブ100%表彰記念品  
いただきました)  
松田博文(ポールハリスフェローピンを頂きました)  
西野義人(2/17～19札幌モーターショー2020が開催され  
当社が開発に参画した電気自動車が出展されました)

## 前回例会の報告

### 第2311回(1月21日) 例会記録

#### 会長報告

1. 附田博(92才)元会員が1/16にご逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。  
入会日 1985年4月9日  
退会日 2014年6月30日  
ロータリー歴 29年
2. 1/15(水)室蘭東RC・1/16(木)室蘭RCメー  
キャップの報告  
ガバナー月信の内容を丁寧に紹介していた  
ことに感心させられました。

#### 幹事報告

1. 2/18(火)のクラブ協議会は中止致します。  
12:30からの例会は通常通り行います。
2. 6月のプログラム日程にご注意ください。  
\* ポリオプラス募金、1人100円とワンコイン  
ニコニコBOXのご協力を、お願い致します。  
募金箱は受付に設置してます。

#### 委員会報告

1. 船水会員より  
ロータリー財団奨学生、重井さんの月例報告
2. 職業奉仕委員会 上口委員長より  
第2510地区職業奉仕委員会よりアンケート  
のお願いがまいりました。別紙参照。

## 各種記念日



誕生記念日 西尾 静枝 会員 1月25日

## 出席報告

会員数	49名	出席者数	38名
出席免除者数	2名	欠席者数	11名
出席義務者数	47名	出席率	77.55%

- 例会場 ホテルサンルート室蘭
- 例会日 毎週火曜日 12:30 P.M.
- 事務所 室蘭市中島町2丁目28-6
- 電話 0143-45-6569 ●FAX 0143-50-6578
- URL <http://murokita-rc.org/>
- E-mail [mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp](mailto:mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp)



## 卓話「私の職業」

上口 喜代志 会員  
クラブ管理運営委員会

この度、卓話の依頼があり、テーマをを何にするか決めがたかったのですが1月は職業奉仕月間で、1月28日には職業奉仕フォーラムを開催いたします。その直前に卓話の依頼という事は職業奉仕に関わる話をしてくださいという事なのかと覚り、職業奉仕に関わる話からの私の職業紹介をさせて頂こうと思い、テーマを私の職業とさせて頂きました。

私事ではありますが今年度、職業奉仕委員長という大役を頂いたという事もあり、職業奉仕とは何なのかと勉強をしていた所ではありました。

勉強するにあたって色々な資料を参考に職業奉仕とは何かを探りましたが探れば探るほど古い資料、人物理論等に誘導されたり、色々な方の理論見解があったりでかなり資料の中で迷子になる事も多々ありましたがその中でも私が賛同でき少し理解しやすい表現の方、数人の資料を基に勉強させて頂いたのですが職業奉仕とは何かという奥深いものでした。

まだまだ私の知識では職業奉仕については語れませんので職業奉仕の基礎的な考え方だけでも理解したく勉強した内容を報告いたしますのでロータリー経験が浅い者の勉強実施報告だと思って聞いて頂けるとありがたいですが私の理解、解釈に間違いがありましたら偏に私の勉強不足故の事ですのでご容赦いただきたいと思います。

### 職業奉仕の基礎的考え方

職業奉仕をを理解するには「ロータリー運動は倫理運動である」ことを理解しなくてはならない。ロータリーは倫理運動であるがために古来より色々な原理原則が生まれ、その中でも基盤といわれているのが職業奉仕で「ロータリーのロータリーたる所似は職業奉仕の実践にあり」といわれている。

### 倫理=人が正しく歩む道（道徳）

このことを踏まえて職業奉仕がわかりにくく感じる問題点について考えてみる。

- 1 職業奉仕と社会奉仕をどのように区別するか
- 2 「職業奉仕」という言葉の問題点
- 3 職業奉仕の実践

#### 1. 職業奉仕と社会奉仕をどのように区別するか 受益者が誰であるかで区別

受益とは金銭のみならず尊敬、信頼、信用も意味する自分の職業を通じて行われる出来事は感情の持ち方で全て職業奉仕になる。社会奉仕と職業奉



仕は「一対」なので最も多く奉仕するものは最も多く報われる。

#### 2. 職業奉仕という言葉の問題点

全く正反対の言葉が1つになった言葉であることが難点であるが、職業(自分の為の物)+奉仕(人の為の物)＝「一つの心」として考え、職業を営む事が世のため人のための奉仕となると考える。

「世のため人のために奉仕をする心を持って職業を営むべし」と考えられることから自分の職業に対し強く倫理性を要求した言葉である。

ロータリーにのみ存在する言葉であり、個人の職業倫理を重要視していることがわかる言葉。

#### 3. 職業奉仕の実践

職業奉仕の実践＝例会に出席することから始まる。例会に出席することにより卓話を聞いて職業倫理をまなんだり、職業人同士の体験談や知識、知恵等を耳にし職業倫理を学びあう。

ロータリー経験の浅い私ですが倫理は重要と感じています。例会に多く出席して職業倫理を学びたいと思っています。

職業奉仕の実践に伴い次週、職業奉仕フォーラムでは会員の皆様の職業等を改めて知り合う事でこれからの例会での会員同士の日常会話等から各業種がもつ倫理感にふれやすくなるのではないかと思います。職業紹介のあるフォーラムとなりました。

そこで先に簡単ではありますが私の職業紹介をさせて頂きます。

私の経営する会社の経営理念は社会に必要不可欠な存在感のある一流企業となり社員の幸せと社会貢献に努めるです。

職業を大まかに業種分類すると（建設、運送、不動産賃貸、美容、介護）と多角的ではありますが、それぞれにコンセプトをおき、社会的意義を考え運営しています。

私、個人理念は社会に必要不可欠な存在になる事です。

ロータリー例会に沢山出席し、職業倫理を高めていきたいと思っています。

## ロータリー月例報告 Vol.4

重井 真琴

留学先:スウェーデン農業科学大学(SLU)

2019年はあっという間でしたが、スウェーデンに移り、修士課程が始まり、とても濃い日々でした。今年最後の月例報告も①スウェーデンでの生活②SLUの講義③ロータリークラブとの交流に分けて書いてまいります。

### ①スウェーデンでの生活

スウェーデンが誇る行事の一つにノーベル賞受賞式があります。授賞式と晩餐会はストックホルムで行われるのですが、ウプサラ大学では毎年何名かのノーベル賞受賞者を招いて講義を行っていただくNobel Lectureが開催されます。今年は物理・化学賞の講義と経済学賞の講義が同時に2つの会場で行われたため、私は物理化学賞の講義に参加しました。化学賞はProf. M. Stanley Whittinghamによる“The Origins of The Lithium Battery (From an Idea to Domination of Energy Storage)”, 物理賞はProf. Michel Mayorによる“Doppler Spectroscopy as a Path to the Detection of Earth-Like Planets”についての講義でした。

### ②SLUの講義

先月に引き続き“Environmental geochemistry”の講義を受けています。年内で講義は一通り終了したため、年明けにグループごとの論文討議と発表をし、期末試験を終えたら秋学期が終了ということになります。

今月の内容も、スウェーデンやEUを例に、土壤汚染物質のガイドラインがどのように決められて

いるか、また既に汚染が発見された土壌をどのように復旧するのか(Soil remediation)といった実務的な知見を広げたり、フガシティという環境中の媒体間の出入りのしやすさを扱うモデリング方法の学習と実践を行ったりし、興味深かったです。最後の講義では、実際にスウェーデンのコンサルタント会社で働く方が授業をしてくださり、普段用いているExcelのモデリングファイルから土壤物質のガイドラインを計算する演習時間もありました。

### ③ロータリークラブとの交流

27日に再びBengt-Erikさん宅の夕食にご招待いただきました。スウェーデンはクリスマスを家族で祝うことが一般的であり、大陸ヨーロッパに比べると市街でのクリスマスマーケット等は少ないのですが、スウェーデンの家族がクリスマスをどう過ごすのかを一緒に体験させていただきました。Uppsala-Arosロータリークラブの来年度予定も教えていただいたので、2020年は朝食ミーティングへの参加やその場での発表も叶いそうです。

修士課程はまだ始まったばかりで、今後も新たな講義や修士論文研究が待っているのですが、この始まりの数か月を無事に終えることができ、穏やかな気持ちでスウェーデンにて年越しを迎えられるのは、ロータリー繋がりの皆様をはじめとする様々な支えのおかげです。いつもありがとうございます。2020年もお世話になりますが、どうぞよろしくお願い致します。

誌面の都合で前回割愛させていただいた写真を掲載いたします。

Vol.3より ロータリー主催のAutumn festの様子

